

事業所名

奈良県障害者総合支援センター
わかくさ愛育園

支援プログラム

作成日

令和

7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		【法人】障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なリハビリテーションサービスを通して相互に人格と個性を尊重し支え合う「ともに生きる」社会の実現に貢献します。									
支援方針		子ども一人ひとりの個性やニーズを的確に把握し、可能性を引き出す療育を目指します。 様々な遊びを経験し成功体験を重ねることを通して、情緒の安定を図り、生活習慣の確立、運動発達、集団参加を促し、コミュニケーション手段の獲得等を促します。									
営業時間			9 時		分から	17 時		分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	安全安心な環境を提供し、通園リズムや生活リズムの安定を図り、健康的に日中活動ができるよう支援します。 こどもの心身の状態把握に努め、こどもの状態像に応じて、食事、排泄、着脱、清潔に関する日常生活の支援します。									
	運動・感覚	こどもの特性や発達段階に応じた、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭覚、固有覚等の感覚を活用できる遊びの中で、体を動かす意欲を引き出し、日常生活を送る上で必要となる姿勢保持や移動、運動動作等の身体機能の向上を目指します。									
	認知・行動	玩具や教具を使用した遊びや好きなこと、興味を活かした活動を通して、見る、聞く、触るという行動を促します。 物との関わりを豊かにすることで、物事への注目、理解につなげていきます。 こども自身で感じ、考え新たな気づきが得られるような活動の機会を提供し、こどもの特性に応じた環境調整を行ないながら、状況に応じた行動調整ができるよう支援します。									
	言語 コミュニケーション	こどもの伝えたいという気持ちを育みながら、こどもが安心して他者と関われるよう、個々の状態に合わせたコミュニケーション手段を用いて、丁寧なやりとりを行ないます。									
	人間関係 社会性	周囲の大人や友だちと楽しく関わる経験を通して、相手に気づき、自ら関わろうとする力を育てていけるよう支援します。また、自分や相手の気持ちを知り、自分と他者の違いを理解したうえで、協力できる力を身につけ、社会性を高めていけるよう支援します。									
家族支援		連絡帳のやり取りや引き継ぎの機会を通して、日々の療育の様子や支援方法について、保護者と情報共有を行ない、要望や必要に応じて個別相談を実施します。							移行支援	こどもにとって最善の選択ができるよう、保護者と情報共有を行ない、また、関係機関と連携を図り支援します。	
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援や、こども地域支援事業を実施し関係機関と連携を図ることで、障害に関する理解を促し、インクルーシブ社会の実現につながるよう支援します。また、支援者向け研修会を実施し、地域支援、地域連携の強化を図ります。							職員の質の向上	施設内研修、外部研修、療育前後のミーティングやケース会議の定期開催を通して療育支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		七夕、水遊び、クリスマス会、豆まき、園外活動など									